

船橋市議会議員

たけと

## ひいろ健人

市議会レポート  
第64号

発行：ひいろ健人事務所 船橋市海神 6-11-9 TEL 047-420-1800 FAX 047-420-1801

E-mail info@taketo2784.net

LINE市民相談はこちら➡



## ■船橋市立医療センター建て替えへ ～資材費高騰、工事費削減が課題～

去る3月24日（金）、令和5年第1回定例会は市長提出の51議案他を可決し閉会しました。3月議会に提出された議案の中には、老朽化が進む船橋市立医療センターの建て替えに関連し、移転用地取得のための費用が盛り込まれたほか、建替工事の基本設計が公表され、議会に報告されました。

この基本設計によると、新病院は市の中央部、海老川上流地区の土地区画整理事業地内に用地を取得し、地上7階建て、全500床の規模として、令和9年度中の開院を目指します。土地区画整理事業にあわせて設置を予定している東葉高速鉄道の新駅（東海神～飯山満間）からも徒歩圏内となり、市民の生命を守る中核病院の使命を担いつつ、いわゆるメディカルタウン構想のランドマークとなることが期待されます。

一方、あわせて公表された概算整備事業費によると、建築資材等の高騰、予定地の変更による地盤改良費の増加、仕様の変更（感染症対策のための原則個室化など）等により、当初290億円と見込まれていた工事費が560億円へ93%も増加するなどしており、全体では709億円もの事業費を要するものとされました。今後長期間にわたって、市財政へ大きな影響を及ぼすものと考えられることから、今後本格的な実施設計の中で可能な限りの精査と工事費の削減が求められます。今月で改選を迎えますが、再選をいただいたあかつきには事業の進捗をしっかりとチェックするとともに、新しい医療センターが市民の期待に応えるものとなるよう働きかけていきたいと思っております。



医療センター（南側上空）



医療センター（南側外観）

基本設計より引用

## ■3月議会質疑 ～中核市移行20周年、政令指定都市への移行は？～

**日 色** 平成15年4月1日に中核市に移行してから、令和5年度で20周年となる。中核市としてのこの20年の歩みをどう評価しているか。新型コロナ対応時における市独自の保健所の献身的な働きなど、個人的に高く評価するものだが、市の見解は。

**企画財政部長** 議員からも評価いただいたように、コロナ禍において市独自に保健所を有していたことにより、機動的に対応できたことがあげられる。身体障害者手帳の交付や保育所の設置、環境の分野でもきめ細やかな対応が可能となった。

**日 色** 当市は中核市という制度を使いこなしてきたと考えるが、今後のさらなる市の発展のために、当市単独での政令指定都市への移行について研究を行うべきではないか。区制の導入や、県からのさらなる権限移譲、市のブランド力向上などのメリットを市民と共有し、将来の政令指定都市移行を市の目標とすることはどうか。



船橋市役所庁舎

©船橋市広報課

**杉田副市長** 現行の政令指定都市制度の課題や今後の動向を勘案すると、現在、政令指定都市移行への研究を進める考えはない。中核市としての権限を活用して、市民サービスの向上に努める。

# ■アンデルセン公園の風車改修決定 ～一般質問を契機に予算化！～

このたび可決成立した令和5年度一般会計予算において、現在故障して動かなくなっているアンデルセン公園の風車を改修する費用として1億3900万円が盛り込まれました。これは、令和3年12月議会において、私が一般質問で取り上げて指摘したことを契機としたものであり、今回の予算化を評価したいと思います。アンデルセン公園の風車は市のシンボルとして、また姉妹都市であるデンマーク王国オーデンセ市との友好の証として市民に愛されてきましたが、平成30年10月から故障のため羽根が回転しないままとなっていました。質疑の中では市また指定管理者の責任をただし、市長の見解を問いましたが、今後は一日も早い改修工事と、以後の安全で長期的な運営管理を見守っていききたいと思います。



# ■市政報告会を開催しました

去る3月5日(日)、4年ぶりとなる市政報告会を開催しました。当日は、松戸徹船橋市長、木村哲也前衆議院議員ほか多くのご来賓にお越しいただき激励の言葉をいただいたほか、私からこの4年間の活動報告と市政の課題、そして来る市議会議員選挙への抱負を述べさせていただきました。ご来場いただいた皆様に心から御礼を申し上げますとともに、これからも市政についての情報発信を心がけていきたいと思っています。



市政の課題について説明



熱気あふれる会場

# 活 動 日 誌

最近の主な活動の一部をご紹介します。

- 1月 1日(日) 小栗原稲荷神社元旦祭
  - 1月 7日(土) 家庭倫理の会おはよう倫理塾
  - 1月 8日(日) ボーイスカウト船橋第3団新年初集会
  - 1月11日(水) 議会 会派代表者会議
  - 1月16日(月) 自由民主党船橋市支部役員会
  - 1月19日(木) 船橋法人会新年会
  - 1月21日(土) 船橋稲門会新年会
  - 1月29日(日) 海神4・5丁目自治会館開所式
  - 2月 1日(水) 清房院豆まき
  - 2月 3日(金) 京葉5市議会議長会議員研修会
  - 2月 6日(月) 立候補予定者説明会
  - 2月14日(火) 議会 令和5年第1回定例会
- ～3月24日(金) ほか



# ■ホームページをご覧ください

日色健人 Official Web Site では、市議会レポートのバックナンバーを掲載しているほか、会議録や質問動画へのリンク、活動ブログを日々(?)更新しています。お時間のあるときにぜひ一度ご覧ください。

アドレスは <http://www.taketo2784.net/> (タケトフナバシ.ネット) です。検索サイトで「日色健人」と入力いただいてもたどりつけます。



# ■日色 健人 (ひいろ・たけと) プロフィール

昭和53年船橋市生まれ 二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破(日本人初)。平成19年4月の船橋市議会議員選挙において初当選。現在4期目。令和元年5月、第62代船橋市議会議長に就任。会派「市政会」代表。

地域での主な活動：自由民主党船橋市支部、ボーイスカウト船橋地区スカウト支援委員長、船橋稲門会(早大OB会)、船橋市国際交流協会、日本山岳会、(公社)船橋青年会議所第46代理事長、保護司 ほか

趣味：アウトドアスポーツ(山歩き、キャンプ、カヌー)  
愛読書：ヘンリー・D・ソロー「森の生活」  
座右の銘：Where there is a will, there is a way.  
(意志あるところ必ず道あり)

# ■編集後記

いよいよ4年に一度の改選を迎えることとなりました。5期目の挑戦となりますが、これまでの活動を市民の方に精一杯お伝えして、その評価をいただくとともに、初心を忘れず謙虚に臨んでいきたいと思っています。(健)